

科目名称:福祉科教育法Ⅱ					
担当者名:永原朗子					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
教職	3年 後期	講義	自由	2	自由科目につき該当なし(自由科目につき該当なし)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		16304002
授業概要: 教科の指導力を身に付けるため、教科「福祉」の指導案作成と模擬授業・相互評価を通して、授業の改善を図る。					
到達目標: 高等学校「福祉」の目標、内容、方法評価と指導計画を習得し、模擬授業と相互評価を通して、教科の指導力を身に付けることができる。					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 前期授業(福祉科教育法Ⅰ)の確認 — 目標・内容・方法・評価と指導計画 —			福祉科教育法Ⅰの振り返り ≤ 90分		
第2回 社会福祉基礎の考え方、内容と授業展開			「学習指導要領解説・展開—福祉編」および「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」の教科書を読んでおくこと ≤ 90分		
第3回 介護福祉基礎の考え方、内容と授業展開			「学習指導要領解説・展開—福祉編」および「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」の教科書を読んでおくこと ≤ 90分		
第4回 コミュニケーション技術の考え方、内容と授業展開			「学習指導要領解説・展開—福祉編」および「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」の教科書を読んでおくこと ≤ 90分		
第5回 生活支援技術の考え方、内容と授業展開			「学習指導要領解説・展開—福祉編」および「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」の教科書を読んでおくこと ≤ 90分		
第6回 介護過程、介護総合演習、介護実習の考え方、内容と 授業展開			「学習指導要領解説・展開—福祉編」および「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」の教科書を読んでおくこと ≤ 90分		
第7回 こととからだの理解の考え方、内容と授業展開			「学習指導要領解説・展開—福祉編」および「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」の教科書を読んでおくこと ≤ 90分		
第8回 福祉情報活用の考え方、内容と授業展開、ICT 機器を使用した教材作成			「学習指導要領解説・展開—福祉編」および「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」の教科書を読んでおくこと ≤ 90分		
第9回 価模擬授業(指導案)と相互評価 座学・理論、ICT 機器を使用した授業設計		模擬授業の指導案(座学・理論)	指導案作成、授業実践例(座学・理論)を基に、模擬授業(50分)の準備をしておくこと ≤ 120分		
第10回 価模擬授業(指導案)と相互評価 座学・理論		模擬授業の指導案(座学・理論)	指導案作成、授業実践例(座学・理論)を基に、模擬授業(50分)の準備をしておくこと ≤ 120分		
第11回 価模擬授業(指導案)と相互評価 座学・理論		模擬授業の指導案(座学・理論)	指導案作成、授業実践例(座学・理論)を基に、模擬授業(50分)の準備をしておくこと ≤ 120分		
第12回 模擬授業と相互評価		50分の模擬授業(実践・技術)	第9回～第11回の指導案を基に、模擬授業(50分)の準備をしておくこと ≤ 120分		
第13回 模擬授業と相互評価		50分の模擬授業(実践・技術)	第9回～第11回の指導案を基に、模擬授業(50分)の準備をしておくこと ≤ 120分		
第14回 模擬授業と相互評価		50分の模擬授業(実践・技術)	第9回～第11回の指導案を基に、模擬授業(50分)の準備をしておくこと ≤ 120分		
第15回 まとめ			全講義内容の復習と確認 ≤ 90分 模擬授業の改善		
履修に必要な予備知識や技能:福祉科の授業実践に向けて、福祉科教育法Ⅰを復習し、模擬授業の準備をしておくこと。					
課題に対するフィードバック: 作成された指導案については、添削し返却する。または、直接学生に指導する。 模擬授業については、評価表を基に講評する。					
評価方法・基準: 指導案作成・模擬授業 70% 受講態度(授業への参加度、事前学習) 30%					
教科書:教科書・参考書:高等学校学習指導要領解説「福祉編」「社会福祉基礎」実教出版 「介護福祉基礎」実教出版 参考書: 保住芳美編著「高等学校新学習指導要領の展開—福祉編」明治図書					
備考:					
実務経験の内容・期間: 高校教諭 2年					